

昭和女子大学女性文化研究所設立40周年記念シンポジウム

～北京+30の現在、 「女性文化」を問う～

参加費
無料

2025.10.15 WEN

17:00-19:00 (16:40 開場)

本研究所設立40周年に際し、本学建学の精神の基盤である「女性文化」を第4回世界女性会議（北京会議）から30年の現在、女性の置かれた現状と課題を合わせて再考し、今後の活動の方向について考察します。

シンポジウム 司会：伊藤 純 昭和女子大学大学院生活機構研究科教授／女性文化研究所運営委員

趣旨説明 武川 恵子 昭和女子大学大学院福祉社会・経営研究科特命教授／女性文化研究所長

基調講演 伊藤 セツ 昭和女子大学名誉教授・女性文化研究所第5代所長
(45分)

パネルディスカッション (70分)

坂東 眞理子 昭和女子大学総長／女性文化研究所第6代所長

粕谷 美砂子 昭和女子大学大学院福祉社会・経営研究科教授／女性文化研究所運営委員

小西 香苗 昭和女子大学大学院生活機構研究科准教授／女性文化研究所所員

鈴木 正崇 第14回（2021）昭和女子大学女性文化研究賞受賞者／慶應義塾大学名誉教授

伊藤 セツ 基調講演者

対 面

昭和女子大学学園本部館3階 大会議室（シンポジウム）・中会議室（祝賀会）

オンライン

Zoom ウェビナー（ハイフレックス）

- 定 員 | 対面：先着100名／オンライン：200名
- 申込方法 | 事前申込み制。右記のQRコードからお申込みください。
- お問合せ | 昭和女子大学女性文化研究所 iwc-admi@swu.ac.jp



対 面

申込締切
10月6日(月)正午

<https://forms.gle/1kPWWeeJZF7CYSjW7>



オンライン

申込締切
10月9日(木)正午

<https://forms.gle/TB2SoPsRsBP9e8pg6>

基調講演／パネルディスカッション



伊藤 セツ

昭和女子大学名誉教授

経済学博士、社会政策学会名誉会員、日本家政学会名誉会員／
女性文化研究所第5代所長

1939年生まれ。北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学、北星学園女子短期大学教授・都立川短期大学教授を経て、1989年昭和女子大学女性文化研究所教授、大学院生活機構研究科長を歴任／『クララ・ツェトキンの婦人解放論』（1984、有斐閣）、『家庭経済学』（有斐閣、1990）、『クララ・ツェトキーン—ジェンダー平等と反戦の生涯』（御茶の水書房、2013、2018増補改訂）、『山川菊栄研究—過去を読み 未来を拓く』（ドメス出版、2018）、『国際女性デーの世界史—起源、過去、現在、未来』（御茶の水書房、2023、2024増補改訂）



趣旨説明
武川 恵子 所長



坂東 真理子

昭和女子大学総長

昭和女子大学生生活機構研究科特任教授／女性文化研究所第6代所長

1969年東京大学卒業、総理府入省。内閣広報室参事官、統計局消費統計課長、男女共同参画室長、埼玉県副知事、ブリスベン総領事などを経て、2001年内閣府男女共同参画局長。2004年昭和女子大学大学院教授・女性文化研究所長、2007年同大学学長、2014年同大学理事長、2016年同大学総長／著書には300万部を超える『女性の品格』（PHP研究所、2006）の他、『日本の女性政策』（ミネルヴァ書房、2009）、『女性の覚悟』（主婦の友社、2022）、『人は本に育てられる』（幻冬舎、2024）など、50冊以上。『北京行動綱領から30年』総説（共著、御茶の水書房、2025）



司会進行
伊藤 純 運営委員



粕谷 美砂子

昭和女子大学大学院福祉社会・経営研究科・生活機構研究科教授／
女性文化研究所運営委員／第1回（2007年度）女性文化研究奨励賞受賞

昭和女子大学大学院生活機構研究科博士後期課程修了（博士（学術））。日本学術振興会特別研究員（PD）、昭和女子大学短期大学部専任講師を経て、人間社会学部現代教養学科教授、専門職大学院福祉共創マネジメント専攻主任（現在に至る）／『生活時間と生活福祉』（共著、光生館、2005）、『男女共同参画時代の女性農業者と家族』（共著、ドメス出版、2008）、『三訂 消費生活経済学』（共著、光生館、2008）、『北京行動綱領から30年』第2章（共著、御茶の水書房、2025）ほか



小西 香苗

昭和女子大学大学院生活機構研究科・食健康科学部管理栄養学科准教授／
女性文化研究所所員

徳島大学卒、北海道大学（博士（医学））、2014年4月 昭和女子大学に着任。女性健康科学研究所所員。2024年4月よりサウサンプトン大学MRCライフコース疫学センター 客員研究員（現在に至る）／『栄養疫学—食と健康のデータサイエンス』（共著、建帛社、2025）、『北京行動綱領から30年』第4章（共著、御茶の水書房、2025）、単著論文「Associations between healthy Japanese dietary patterns and depression in Japanese women」Public Health Nutrition（2020）、単著論文「妊娠中の鉄剤処方と妊娠前体格との関連」栄養学雑誌（2024）など



鈴木 正崇

慶應義塾大学名誉教授

前日本山岳修験学会会長／第14回（2021）昭和女子大学女性文化研究賞受賞

1979年慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。同年東京工業大学助手。1986年慶應義塾大学専任講師を経て、1996年慶應義塾大学教授（2015年定年退職）。2025年現在、国際仏教学大学院大学、筑波大学大学院非常勤講師／『女人禁制』（吉川弘文館、2002、講談社学術文庫、2022）、『山岳信仰』（中央公論新社、2015）、『熊野と神楽』（平凡社、2018）、『女人禁制の人類学』（法蔵館、2021）、『日本の山の世界史』（青土社、2024）、『山岳信仰と修験道』（春秋社、2025）